

# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

試読・購読はこちらから



12月21日号（293号）

編集／販売総本部ブランドプロモーショングループ

## 元プロ野球選手・立正大教授 西谷尚徳さんの現在地

21日(日)=1、3面



西谷さんはプロ野球楽天・阪神の内野手でプレーした過去があります。しかし、それは西谷さんにとって「想定外」でした。もともと「高校の国語教員になつて野球の指導者になる」のが目標だったからです。

プロ生活と並行して大学院に通いながら勉強を続け、修士号を取得します。引退後すぐに非常勤ながら高校の教員となり、さらに大学教授の道を進みました。その道を究めたアスリートが「セカンドキャリア」へ方向転換するのは難しいことですが、西谷さんの場合は周到な準備をしていました。そんな西谷さんの「思考」に迫ります。

リポートなどを、客観的データや事実を適切に使って書き上げる技術のことです。立正大法学部教授の西谷尚徳さん（43）はこの専門です。

授業に「アカデミック・ライティング」があります。学術論文や立正大法学部教授の西谷尚徳さん（43）はこの専門です。

多くの大学の授業に「アカデミック・ライティング」があります。学術論文や立正大法学部教授の西谷尚徳さん（43）はこの専門です。



迫る

## 「ミャンマー総選挙」を斬る 24日(水)=総合面



「ミャンマー総選挙」を斬る  
続くミャンマーで、28日から総選挙が実施され、内戦状態が

ます。軍事政権は政情不安が解消されない中で選挙を強行し、「民政移管」を主張するとみられています。国軍がクーデターで全権を掌握してからまもなく5年。民主派勢力を排除した今回の選挙は、長引く混乱の解消につながるのでしょうか。京都大学東南アジア地域研究研究所の中西嘉宏教授（写真）のほか、選挙に反発する民主派関係者や参加政党の党首に聞きました。

東京大地震研究所旧館  
=同研究所提供

# 東大地震研100年

21日(日)=総合面



地震と火山研究の拠点である「東京大地震研究所」が11月、創立100周年を迎えました。「天災は忘れた頃にやつてくる」の警句で有名な地球物理学者、寺田寅彦も創設に尽力しました。現在は世界最大級の研究成果を世に送り出しています。そんな東大地震研の歴史や次の100年に向けた意気込みを紹介します。

## 特集ワイド

### 辻元清美さんが語る 高市早苗首相への“連帯感”

22日(月)=夕刊2面



立憲民主党の辻元清美  
「お互いによくここまで生き残ってきたね……」

参院議員（65）写真  
「ガラスの天井」を突き破って初の女性宰相となつた高市氏について、辻元氏に聞きました。

「今、高市さんにメッセージを送るとしたら？」  
「今、高市さんにメッセージを送るとしたら？」